

償還 運用報告書 (全体版)

<償還日2019年11月22日>

米国優良株ファンド(リスクコントロール戦略/為替ヘッジあり)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年12月16日から2019年11月22日(当初2023年12月11日)まで。	
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	米国優良株マザーファンド受益証券。
	米国優良株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)
運用方法	主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて米国の株式に実質的に投資を行うとともに、原則として株価指数先物取引を活用することにより価格変動リスクの低減を図ります。 株式への投資部分(マザーファンドを通じてまたは直接投資する額の合計)と、株価指数先物取引の売り建て部分および上場投資信託証券の組み入れ部分を合計した実質的な株式比率は、投資信託財産の純資産総額に対して0%~100%の範囲内で機動的に調整することを基本とします。 実質的な株式比率の調整にあたっては、米国株式市場の変動率などに基づき株価指数先物取引(上場投資信託証券の組み入れを含みます。)の数量を決定します。 実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
組入制限	当ファンドの米国優良株マザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	米国優良株マザーファンドの株式組入上限比率	制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

愛称：USアイ (為替ヘッジあり)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国優良株ファンド(リスクコントロール戦略/為替ヘッジあり)」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

米国優良株ファンド（リスクコントロール戦略／為替ヘッジあり）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			BofAメリルリンチ 米国優良高配当株指数		株式組入 比率	株式先物 比率	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
8期（2017年12月11日）	11,574	80	8.4	219.21	10.1	98.1	—	—	59
9期（2018年6月11日）	11,595	15	0.3	227.19	3.6	89.7	—	△0.8	56
10期（2018年12月10日）	11,193	70	△2.9	225.11	△0.9	84.1	—	△4.3	45
11期（2019年6月10日）	11,505	65	3.4	248.66	10.5	81.5	—	△0.5	42
（償還日） 2019年11月22日	（償還価額） 11,754.70	0	2.2	267.44	7.6	—	—	—	37

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 投資信託受益証券組入比率の欄のマイナス表記は、米国S & P 500株価指数と逆の値動きをする上場投資信託証券の組入比率です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（米国優良株指数）とは

- ・ BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（米国優良株指数）は、収益体質に優れ、配当利回りが高い銘柄から構成され、長期にわたり安定した収益を目指す指数です。
 - ・ 当指数の構成銘柄は、S & P 500種株価指数の構成銘柄の中から、各企業の利益のクオリティ（成長性、安定性）が高く、高配当であり、バンクオブアメリカ・メリルリンチのアナリスト評価が一定水準を満たしている銘柄を選定します。
 - ・ 構成銘柄の見直しは毎月1回行われ、その際、各構成銘柄が等金額ウエイトとなるように配分されます。
 - ・ バンクオブアメリカ・メリルリンチ（以下「BofAML」）は本ファンドの運用者もしくはスポンサーではなくまた本ファンドを保証するものではありません。BofAMLは本ファンドの持分保有者その他一般のメンバーに対して、本ファンド持分への投資の妥当性について明示または黙示を問わず表明保証いたしません。BofAMLと本ファンド運用者もしくはスポンサーまたは本ファンドとの関係は、本ファンドの持分の分売ならびに米国優良株指数並びに関連データ（本項にて両者含めまして「本指数」といいます。）についての、本ファンドに対する利用許諾に限定されています。本指数はBofA Merrill Lynch Global Researchが公表するものであり、本ファンドまたは持分保有者を考慮することなく、BofAMLがその決定や構成を行います。BofAMLは本指数の決定や構成に際して本ファンドおよびその持分保有者のニーズを考慮する義務を負いません。BofAMLは本ファンド持分の発行や償還に関する決定や計算に関与することはなく、また責任を負いません。BofAMLは本ファンドの管理もしくは運用に関してなんら義務を負わず責任を負いません。
- 本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンドまたはその他の者による、本ファンドや本指数の利用に関連した投資決定について、BofAMLは一切責任を負いません。本指数の利用から生じる結果（損失の場合を含みます）は本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンド、その持分保有者その他の者が負うものであり、BofAMLはかかる結果について明示または黙示を問わず保証いたしません。BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分に関して、商品性および特定目的または利用にかかるとの適合性について明示または黙示を問わずなんら保証せず、また明示的に免責させていただきます。以上の項目を限ることなく、BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分の利用から生じる、特別な、懲罰的な、間接的な、または結果的な損害（逸失利益を含む）について、仮に当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切責任を負わないものとします。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		BofAメリルリンチ 米国優良高配当株指数		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首)	円	%		%	%	%	%
2019年 6 月 10 日	11,505	—	248.66	—	81.5	—	△0.5
6 月 末	11,622	1.0	252.48	1.5	83.1	—	△0.4
7 月 末	11,902	3.5	260.05	4.6	86.8	—	6.7
8 月 末	11,428	△0.7	249.52	0.3	84.0	—	8.2
9 月 末	11,676	1.5	257.45	3.5	78.0	—	5.3
10 月 末	11,775	2.3	265.39	6.7	—	—	—
(償還日)	(償還価額)						
2019年 11 月 22 日	11,754.70	2.2	267.44	7.6	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

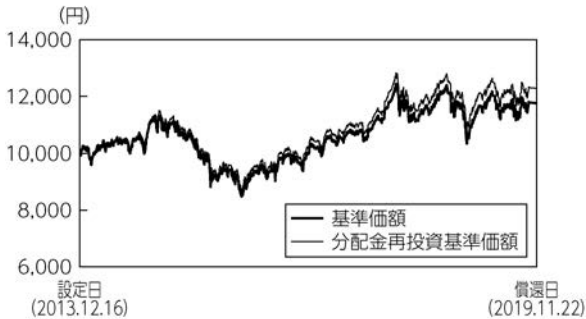
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■設定から前期までの運用経過（2013年12月16日から2019年6月10日まで）

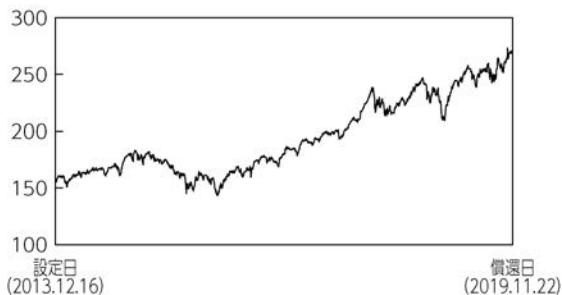
基準価額等の推移

＜設定以来の基準価額の推移＞



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

＜設定以来のBofAメリルリンチ米国優良高配当株指数の推移＞



当ファンドの特色

当ファンドは米国優良株マザーファンド（以下、マザーファンド）を通じて、米国の優良株へ実質的に投資するとともに、株価指数先物取引を活用することで、価格変動リスクの低減を図りました。

投資環境

米国株式市場は、設定当初、米国の量的緩和縮小が開始されたことやウクライナ情勢を巡る米国とロシアの対立から波乱含みではあったものの、その後は米国経済が底堅く推移したことに加え、トランプ政権による減税の恩恵もあり、企業業績が好調さを維持したことが追い風となり堅調に推移しました。2018年以降、米中貿易摩擦問題が浮上し、世界経済の成長鈍化に対する警戒感が強まる場面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）が2015年12月より続けてきた利上げを停止させたことが下支え要因となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

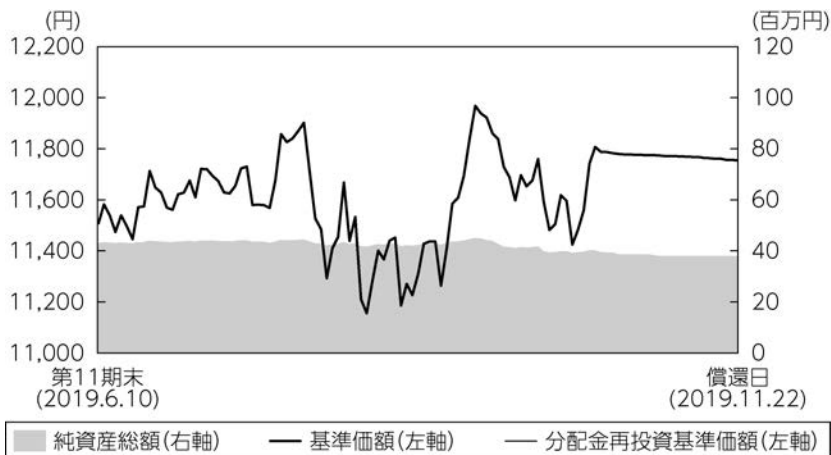
- ・マザーファンドへの投資を通じて、米国の優良株へ実質的に投資しました。
- ・株式市場の価格変動が所定のレベルに達した際にはリスクコントロール戦略を実施し、価格変動リスクの抑制をはかりました。
- ・為替ヘッジにつきましては、高位を維持しました。

米国優良株マザーファンド

キャッシュ・フローの状況や配当利回りの水準等をもとに、BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（以下、「米国優良株指数」といいます。）に採用された銘柄による運用を行いました。資金の流出入に応じ株式の売買を随時行ったほか、月次の米国優良株指数の見直しに伴い、銘柄入替や組入比率の調整を実施しました。

■当期の運用経過（2019年6月11日から2019年11月22日まで）

基準価額等の推移



第12期首： 11,505円
償還日： 11,754.70円
(既払分配金0円)
騰落率： 2.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは米国優良株マザーファンド（以下、マザーファンド）を通じて、米国の優良株へ実質的に投資するとともに、株価指数先物取引を活用することで、価格変動リスクの低減を図ります。

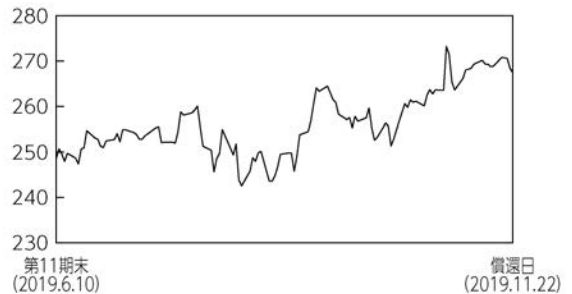
当期の基準価額は、期首11,505円から償還日には11,754円70銭となり、249円70銭（2.2%）上昇しました。マザーファンドを通じて実質的に投資している配当利回りが高く、負債比率が低いなどといった優良株が堅調に推移したことが主な要因です。

投資環境

米国株式市場

米国株式市場は、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて利下げ観測が一段と強まったことなどから、期初から2019年7月中旬にかけ、堅調に推移しました。その後は、米中貿易摩擦の先行きを睨み、方向感の定まらない展開が続いていましたが、米中通商協議の進展期待から10月以降、上昇傾向となり、償還日を迎えました。

<BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数の推移>



ポートフォリオについて

●当ファンド

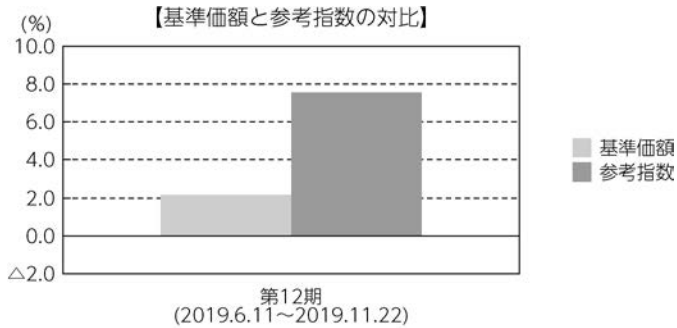
- ・マザーファンドへの投資を通じて、米国の優良株へ実質的に投資しました。
- ・当期は、前期より引き続き、リスクコントロール戦略を実施し、繰上償還が決定するまで継続いたしました。
- ・為替ヘッジにつきましては、高位を維持しました。

●米国優良株マザーファンド

期初、前期に引き続きキャッシュ・フローの状況や配当利回りの水準等をもとに、米国優良株指数に採用された銘柄による運用を行いました。その後も資金の流出入に応じ株式の売買を行ったほか、月次の米国優良株指数の見直しに伴い、銘柄入替や組入比率の調整を実施し、繰上償還が決定した10月16日以降、保有していた株式の全売却を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。グラフは基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

償還にあたって

当ファンドは2019年11月22日に償還いたしました。長きにわたりご愛顧いただきまことに有難うございました。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	(2019年6月11日 ～2019年11月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	85円	0.735%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,627円です。
(投信会社)	(43)	(0.367)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(40)	(0.343)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.024)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.015)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.003)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	25	0.211	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.175)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(その他)	(4)	(0.036)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	112	0.965	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

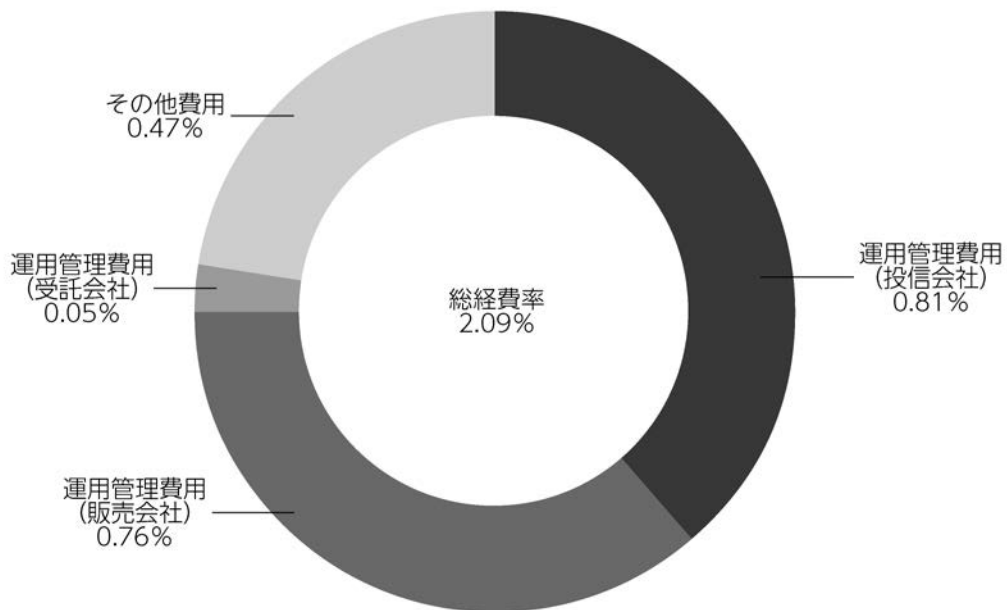
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2019年6月11日から2019年11月22日まで）
投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ PROSHARES SHORT S&P500	千□ — (-)	千アメリカ・ドル — (-)	千□ 0.066 (-)	千アメリカ・ドル 1 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2019年6月11日から2019年11月22日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
米 国 優 良 株 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 654	千円 1,000	千□ 26,326	千円 43,054

■**株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	米国優良株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	187,949千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	87,356千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	2.15

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■**利害関係人との取引状況等**（2019年6月11日から2019年11月22日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

(1) 外国投資信託受益証券

銘 柄		期首(前期末)	
		□	数
(アメリカ) PROSHARES SHORT S&P500			千□ 0.066
合 計	□	数	0.066
銘 柄 数 < 比 率 >		1銘柄<0.5%>	

(注) 比率は、前期末の純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率です。

(2) 親投資信託残高

	期首(前期末)	
	□	数
米 国 優 良 株 マ ザ ー フ ァ ン ド		千□ 25,671

■投資信託財産の構成

2019年11月22日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 38,297	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	38,297	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月22日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	38,297,575円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	38,297,575
(B) 負 債	309,068
未 払 信 託 報 酬	308,909
未 払 利 息	159
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	37,988,507
元 本	32,317,714
償 還 差 損 益 金	5,670,793
(D) 受 益 権 総 口 数	32,317,714口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額(C/D)	11,754円70銭

(注) 期首における元本額は37,349,328円、当期中における追加設定元本額は940,083円、同解約元本額は5,971,697円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月11日 至2019年11月22日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△759円
受 取 配 当 金	1,492
支 払 利 息	△2,251
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,129,274
売 買 益	3,025,880
売 買 損	△1,896,606
(C) 信 託 報 酬 等	△327,314
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	801,201
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,713,340
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,156,252
(配 当 等 相 当 額)	(1,846,679)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△690,427)
(G) 合 計(D+E+F)	5,670,793
償 還 差 損 益 金(G)	5,670,793

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年12月16日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年11月22日		資産総額	38,297,575円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	309,068円
				純資産総額	37,988,507円
受益権口数	65,000,000口	32,317,714口	△32,682,286口	受益権口数	32,317,714口
元本額	65,000,000円	32,317,714円	△32,682,286円	1万口当たり償還金	11,754円70銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	176,085,296円	184,947,642円	10,503円	70円	0.70%
第2期	125,505,887	138,954,121	11,072	100	1.00
第3期	129,124,646	131,690,737	10,199	20	0.20
第4期	125,712,234	114,532,150	9,111	20	0.20
第5期	126,608,669	120,491,131	9,517	0	0.00
第6期	125,148,851	128,332,225	10,254	20	0.20
第7期	130,230,854	140,050,017	10,754	20	0.20
第8期	51,160,835	59,216,029	11,574	80	0.80
第9期	48,712,468	56,482,114	11,595	15	0.15
第10期	40,582,287	45,425,098	11,193	70	0.70
第11期	37,349,328	42,971,042	11,505	65	0.65

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	11,754円70銭
----------------	------------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。

米国優良株マザーファンド

償還 運用報告書

(償還日 2019年11月21日)

この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。ここに運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2013年12月16日から2019年11月21日（当初、原則無期限）までです。
運用方針	円換算したBofAメリルリンチ米国優良高配当株指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		BofAメリルリンチ 米国優良高配当株指数(円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
		期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
2期 (2015年12月10日)	11,639	△10.8	19,000.17	△11.2	98.7	—	338
3期 (2016年12月12日)	13,013	11.8	21,373.50	12.5	97.5	—	384
4期 (2017年12月11日)	15,018	15.4	24,913.22	16.6	98.6	—	164
5期 (2018年12月10日)	15,079	0.4	25,329.38	1.7	96.8	—	107
(償還日) 2019年11月21日	(償還価額) 16,230.16	7.6	29,101.01	14.9	—	—	6

(注1) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（円換算）は、BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数をアセットマネジメントOneが円換算したものです（以下同じ）。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（米国優良株指数）とは

- ・ BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（米国優良株指数）は、収益体質に優れ、配当利回りが高い銘柄から構成され、長期にわたり安定した収益を目指す指数です。
 - ・ 当指数の構成銘柄は、S & P 500種株価指数の構成銘柄の中から、各企業の利益のクオリティ（成長性、安定性）が高く、高配当であり、バンクオブアメリカ・メリルリンチのアナリスト評価が一定水準を満たしている銘柄を選定します。
 - ・ 構成銘柄の見直しは毎月1回行われ、その際、各構成銘柄が等金額ウエイトとなるように配分されます。
 - ・ バンクオブアメリカ・メリルリンチ（以下「BofAML」）は本ファンドの運用者もしくはスポンサーではなくまた本ファンドを保証するものではありません。BofAMLは本ファンドの持分保有者その他一般のメンバーに対して、本ファンド持分への投資の妥当性について明示または黙示を問わず表明保証いたしません。BofAMLと本ファンド運用者もしくはスポンサーまたは本ファンドとの関係は、本ファンドの持分の分売ならびに米国優良株指数並びに関連データ（本項にて両者含めまして「本指数」といいます。）についての、本ファンドに対する利用許諾に限定されています。本指数はBofA Merrill Lynch Global Researchが公表するものであり、本ファンドまたは持分保有者を考慮することなく、BofAMLがその決定や構成を行います。BofAMLは本指数の決定や構成に際して本ファンドおよびその持分保有者のニーズを考慮する義務を負いません。BofAMLは本ファンド持分の発行や償還に関する決定や計算に関与することなく、また責任を負いません。BofAMLは本ファンドの管理もしくは運用に関してならん義務を負わず責任を負いません。
- 本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンドまたはその他の者による、本ファンドや本指数の利用に関連した投資決定について、BofAMLは一切責任を負いません。本指数の利用から生じる結果（損失の場合を含みます）は本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンド、その持分保有者その他の者が負うものであり、BofAMLはかかる結果について明示または黙示を問わず保証いたしません。BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分に関して、商品性および特定目的または利用にかかる適合性について明示または黙示を問わずならん保証せず、また明示的に免責させていただきます。以上の項目を限ることなく、BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分の利用から生じる、特別な、懲罰的な、間接的な、または結果的な損害（逸失利益を含む）について、仮に当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切責任を負わないものとします。

■当期中の基準価額と市況の推移

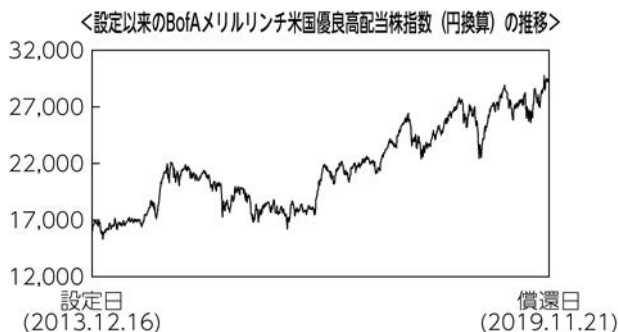
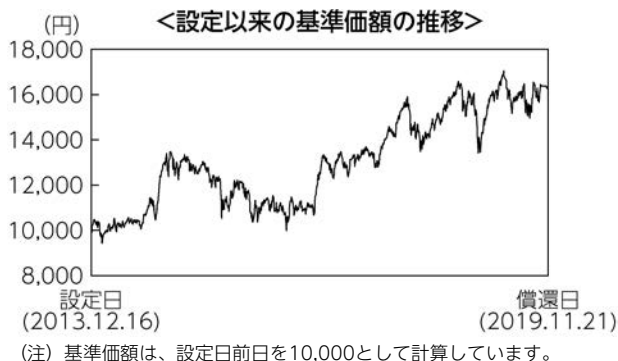
年 月 日	基 準 価 額		BofAメリルリンチ 米国優良高配当株指数(円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2018年12月10日	15,079	—	25,329.38	—	96.8	—
12月 末	14,120	△6.4	23,656.32	△6.6	96.9	—
2019年1月 末	15,041	△0.3	25,471.58	0.6	95.7	—
2月 末	16,000	6.1	27,129.89	7.1	98.1	—
3月 末	16,101	6.8	27,278.01	7.7	91.9	—
4月 末	16,813	11.5	28,517.28	12.6	98.7	—
5月 末	15,451	2.5	26,324.05	3.9	97.0	—
6月 末	15,870	5.2	27,214.82	7.4	89.1	—
7月 末	16,477	9.3	28,251.83	11.5	91.1	—
8月 末	15,513	2.9	26,563.90	4.9	88.0	—
9月 末	16,114	6.9	27,784.00	9.7	84.2	—
10月 末	16,372	8.6	28,895.66	14.1	—	—
(償還日)	(償還価額)					
2019年11月21日	16,230.16	7.6	29,101.01	14.9	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■設定から前期までの運用経過（2013年12月16日から2018年12月10日まで）

基準価額等の推移



による資金の流出入に応じ株式の売買を随時行ったほか、月次の米国優良株指数の見直しに伴い、銘柄入替や組入比率の調整を実施しました。

■期中の運用経過（2018年12月11日から2019年11月21日まで）

基準価額の主な変動要因

米国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とし、円換算した米国優良株指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期の基準価額は、期首15,079円から償還日には16,230円16銭となり、1,151円16銭（7.6%）上昇しました。当ファンドが保有する配当利回りが高く、負債比率が低いなどといった優良株が堅調に推移したことが主な要因です。

当ファンドの特色

米国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とし、円換算したBofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（以下、「米国優良株指数」といいます。）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

投資環境

米国株式市場は、設定当初、米国の量的緩和縮小が開始されたことやウクライナ情勢を巡る米国とロシアの対立から波乱含みではあったものの、その後は米国経済が底堅く推移したことに加え、トランプ政権による減税の恩恵もあり、企業業績が好調さを維持したことが追い風となり堅調に推移しました。2018年以降、米中貿易摩擦問題が浮上し、世界経済の成長鈍化に対する警戒感が強まる場面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）が2015年12月より続けてきた利上げを停止させたことが下支え要因となりました。

ポートフォリオについて

当ファンドはキャッシュ・フローの状況や配当利回りの水準等をもとに、米国優良株指数に採用された銘柄による運用を行いました。設定・解約

投資環境 米国株式市場

2018年12月11日～2019年6月10日

米国株式市場は、期初から2018年の年末にかけて弱含みましたが、2019年年明け以降は、パウエルFRB議長が、金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから4月下旬にかけて堅調に推移しました。その後、米中貿易摩擦への懸念などから調整に転じましたが、パウエル議長が講演で利下げの可能性を排除しなかったことなどから、やや値を戻しました。

2019年6月11日～2019年11月21日

米国株式市場は、FOMC(米連邦公開市場委員会)を受けて利下げ観測が一段と強まったことなどから、期初から7月中旬にかけ、堅調に推移しました。その後は、米中貿易摩擦の先行きを睨み、方向感の定まらない展開が続いていましたが、米中通商協議の進展期待から10月以降、上昇傾向となり、償還日を迎えました。

ポートフォリオについて

当ファンドは期初、前期に引き続きキャッシュ・フローの状況や配当利回りの水準等をもとに、米国優良株指数に採用された銘柄による運用を行いました。その後も設定・解約による資金の流出入に応じ株式の売買を行ったほか、月次の参考指数の見直しに伴い、銘柄入替や組入比率の調整を実施し、繰上償還が決定した2019年10月16日以降、保有していた株式の全売却を行いました。

■償還にあたって

当ファンドは、2019年11月21日をもちまして償還となりました。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	15円 (15) (0)	0.097% (0.095) (0.002)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資証券)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	77 (75) (2)	0.487 (0.476) (0.011)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	93	0.591	
期中の平均基準価額は、15,794円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は、「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2018年12月11日から2019年11月21日まで）

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		208.26 (1.32)	1,771 (-)	301.12	2,784

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
ア メ リ カ P U B L I C S T O R A G E		千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
		0.421 (-)	101 (-)	0.421 (-)	104 (-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	499,058千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	96,662千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	5.16

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2018年12月11日から2019年11月21日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

外国株式

銘 柄		期首(前期末)		業 種 等
		株	数	
(アメリカ)			百株	
C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC			8.23	航空貨物・物流サービス
DARDEN RESTAURANTS INC			7.13	ホテル・レストラン・レジャー
EMERSON ELECTRIC CO			10.69	電気設備
NEXTERA ENERGY INC			4.39	電力
GENERAL DYNAMICS CORP			4.19	航空宇宙・防衛
ALTRIA GROUP INC			11.75	タバコ
PROCTER & GAMBLE CO			8.35	家庭用品
ROCKWELL AUTOMATION INC			4.32	電気設備
RAYTHEON COMPANY			4.14	航空宇宙・防衛
TEXAS INSTRUMENTS INC			7.67	半導体・半導体製造装置
UNION PACIFIC CORP			5.08	陸運・鉄道
VF CORP			8.79	繊維・アパレル・贅沢品
JM SMUCKER CO/THE-NEW			6.81	食品
合 計	株	数	91.54	
	銘 柄	数	13銘柄	

■投資信託財産の構成

2019年11月21日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,652	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	6,652	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月21日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	6,652,176円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,652,176
(B) 負 債	10
未 払 利 息	10
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	6,652,166
元 本	4,098,646
償 還 差 損 益 金	2,553,520
(D) 受 益 権 総 口 数	4,098,646口
1万口当たり償還価額(C/D)	16,230円16銭

(注1) 期首元本額 71,179,741円
追加設定元本額 19,719,543円
一部解約元本額 86,800,638円

(注2) 期末における元本の内訳
米国優良株ファンド(リスクコントロール戦略/為替ヘッジなし) 2,586,255円
米国優良株ファンド(リスクコントロール戦略/為替ヘッジあり) 1,512,391円
期末元本合計 4,098,646円

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年11月21日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,737,521円
受 取 配 当 金	1,739,314
支 払 利 息	△1,793
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	5,945,183
売 買 益	15,677,316
売 買 損	△9,732,133
(C) そ の 他 費 用	△463,545
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	7,219,159
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	36,153,266
(F) 解 約 差 損 益 金	△52,299,362
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	11,480,457
(H) 合 計(D+E+F+G)	2,553,520
償 還 差 損 益 金(H)	2,553,520

(注1) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。